

△産業宣教 産業人の真の始まり(使 2:9-11)	△レムナント伝道学 レムナントの実際の答え (ヨハ 21:15-18)	△核心 キリストに出会った人々(マタ 28:16-20)	△散らされた弟子たち 旅程の中にある答え (ヘブ 11:1-6)
<p>使 2 章は、マルコの屋上の間の現場で産業人の真の始まりだ。 □序論 1. 正確に始めることが重要 過程は最も正確に 9 つの流れを見て、聖霊に導かれるべき 目標は最高に握るべき</p> <p>2. 三つ 1) 祈りの生活の基準は、霊性と関係があるが、契約と CVDIP が 明らかならば、24 が可能で 25、永遠はついてくる。 2) 教会生活の基準 始まりが使 2:1-47 マルコの屋上の間、世 界宣教を見通すアンテオケ教会(使 11:19-30)だ。そして、そ の結論はロマ 16:1-27 だ。 3) 職業(産業)の基準は、ただ・唯一性・再創造だ。</p> <p>3. 実際 1) 実際的なことで本質を見なさい 2) 未来を見るためだ。 3) 神様の計画を質問しなければならない。</p> <p>□本論_世界福音化 1. 始まりを誤った人々 1) バリサイ教-原罪、サタンを知らずにメシヤを間違って理解 (1) ルカ 23:28 次世代に問題き始め (2) マタ 27:25 血の代価が次世代に行く。 (3) ヨハ 21:15-18 復活されたイエス様がペテロに、わたし の小羊を飼いなさいと言われた。 2) 中世教会-政治的な理由で始まり。福音とは全く関係ない始 まり 3) 現代教会-福音でない始まり</p> <p>2. 正しくした人々 1) ヨハ 19:30 キリストが原罪、三つのろいをなくしてしまっ た。 2) 使 1:1-14 確実な始まりの契約を握った 3) 集まって祈って使 2:9-11 の答え</p> <p>3. 当然・必然・絶対-答えの中で最も正確(神様の絶対計画) 1) 使 16:15 ビリピ教会が始まり 2) 使 17:6 ヤソク。テサロニケ。どんな問題きても大丈夫だ。 3) 使 18:1-4 プリスカ夫婦との出会い 4) 使 19:8-10 答えが来るしかない。 5) 使 19:21、23:11、27:24 さらに重要なことを見たのだ。ロー マも見なければならぬ。</p> <p>□結論 1. イテロの献身-出エジプト 10 の奇跡(出 5:1-12:46) 2. ハンナの献身-ミツバ運動、神殿準備 3. オバデヤの献身-ドタンの町運動まで 4. イザヤのみことば伝達-バビロン運動が起こった 5. ロマ 16 章の人々の献身-ローマ福音化、世界福音化につなごう た △この契約を握って何も心配せずに契約を握って 24 しなさい。</p>	<p>イエス様が 3 度も小羊を飼いなさい と言われた。レムナントが受けなけ ればならない実際の答えはなにか。</p> <p>□序論 1. 本を読む方法-力を得る本、有益な 部分だけを読みなさい。一日一度 はメッセージを必ず聞きなさい。 霊的運命を変える。 2. 祈る方法(脳-たましい) -集中(力) 考えること、見ること、聞くこと はみな脳に刻印される。それはた ましいと通じるので、この集中と 集中力はとても重要だ。すべての ことと力はここからみな出てく る。 3. 勉強する方法(やぐら) 1) プラットフォーム 2) 見張り台 3) アンテナ</p> <p>□本論 1. 過去-土台 Exit -ここから無条件に抜け出 してこそ、土台になるのだ。 2. 今日-重要な絵が出てこなければ ならない。(使 17:1-9) 1) キリストの当為性 2) 毎日が主日 3) 御座が私に臨めば神の国、学業 に現れれば神の国のことになる</p> <p>3. 未来-作品(やぐら) 1) 御座のやぐら 2) 光のやぐら 3) 疎通のやぐら</p> <p>□結論_CVDIP これが確かに作られれば、すべてが CVDIP として見える。すると、困難 が来ても大丈夫だ。だまされてはな らない。家庭問題、現場問題にだま されずに契約を握りなさい。重要な 答えが一度だけ来れば、そのときか らつながる。祈ることができるなら ばどんな状況も大丈夫だ。</p>	<p>□序論 40 日-オリーブ山(御座、神の国、ことに集中) 10 日-マルコの屋上の間(使 1:1-14) -確実なミッションを握って降りてき て祈り -ただの時間(使 2:1-13 五旬節の日、2:17-18 見える未来、2:42 ひたすら祈 り、2:46-47 みことばが現場につながる) -証人の時間(使 3:1-12 足のなえた人、4:1-12 法廷、8:4-8 サマリヤの門) -ターニングポイントの時間(使 11:19-30 アンテオケ教会、13:1-4 初めて の宣教師派遣、16:6-10 マケドニア、19:1-7 マルコの屋上の間の働き回 復、19:21、23:11、27:24 ローマ) 見ること、聞くこと、思い浮かぶこと-24 祈り、24 呼吸 □本論_やぐらを持つ見張り人(光を持つ者-プラットフォーム、見る者-見 張り台、生かす者-アンテナ) △復活されたキリストがオリーブ山で神の国のことを 40 日間説明された。 確実なミッションを握れば 24 が可能になる。そのとき、ただ、証人、ター ニングポイントの時間が続けて来る。 [この人たちにあった最も重要な内容] 1. 復活信仰-永遠の前、受肉、死に勝たれ、再臨主、さばき主として立た れるキリスト。今も続くこと 1) I コリ 15:3-5 聖書の示すとおり復活 2) I コリ 15:20 復活の初穂 3) マタ 28:16-20 復活の主に会ったが、礼拝する者と疑う者が出てく る。復活仰を持たない以上、私の霊が生かされない。 2. 確認 1) 天-地(権威) -天と地のいっさいの権威を持った。 2) 三位一体-父と子と聖霊の御前によってバプテスマを与えて 3) いつも-世の終わりまでともに △このものすごい奥義を祈りて味わうのだ。それゆえ、ただ(使 1:8) 3. 体験 1) キリスト-聖書の示すとおりよみがえられた 2) 御座の力を体験。この答えが私に臨んで伝えられれば働きが起こる。 3) 証人(力)体験できる。 △みなさん 1 人が落胆せずに祈れば、答えが来ることを確認するようにな る。 □結論 1. みことばが確認できる。 2. 答え(反対側) -道(すべての人が福音の対象、すべての問題は答え、すべ ての迫害は道) 3. 未来が見える-私 X(私の考え、私の主張が必要ない) 4. 霊的状态(創 1:27、2:7、2:18) -本来のこと回復 5. 御座の力が私に臨む-神の国、時空超越、237 の答え</p>	<p>答えられた人々(ヘブ 11:1-6)の特徴、 苦しいと考え X、重要なことを見たこ と。</p> <p>□序論_7 大旅程を見るべき 1. Trinity -毎日臨在する祈り 2. 10 奥義-本当の祝福は隠された祝福 3. 10 土台-人を通して-神様の御声を聞 くこと 4. 9 流れ-始まり(霊的問題、水の流れ の始まりを変えてしまうべき) 5. 5 確信-自分の判断 X(私も他の人も 制限 X) 6. 62-巡礼者の道セッティング 7. (序論 1~6) 成り立つ礼拝(祈り)が生 かされる-鍵は御座</p> <p>□本論 1. 譲るけれど-すべてを得ることがで きる 1) RT 7 人 生かすもっと大きなこ とを持っているために 2) II コリ 5:17 新しい被造物 3) ガラ 2:20 キリストが私の中にお られること 2. 動機なくてもかまわない-答え御座 1) 使 1:14 動機が違う。 2) 使 11:19 患難が起こったが集まっ たこと 3) 使 19:21 大きな騒動が起こったが 「ローマも見なければならぬ」 3. すべての栄光を神様にささげること 1) 三位一体の神様が私の主人 2) 私の弱さを誇り(II コリ 12:1-10) 「そのとき、神様の強さが」 3) ヘブ 11:1-6 目に見えない未来を 見たこと</p> <p>□結論_すべての問題は関係ない。神 様がみなさんと目に見えないが、完べ きにともおられるからだ。</p>

<p>△区域メッセージ (第 10 週) 空前絶後の祝福と 25 の答え (創 2:1-18)</p>	<p>△聖日 1 部礼拝 世界福音化の準備 (使 19:1-7)</p>	<p>△聖日 2 部礼拝 私、学業、産業に神の国 (使 19:8-20)</p>											
<p>空前絶後 (計画) 神様の私たちにある計画は空前絶後ののだ。これを見つけたことが 25 の答えだ。これは、本来のこと、創 2:1-18 を回復することで、最も重要なことは、創 2:7 に神様がアダムのいのちの息を吹き込まれたことだ。</p> <p>□序論_瞑想運動 瞑想運動-瞑想運動は私が私を見つけること、黙想運動は神様のことを見つけることだ。瞑想運動は私が主人、黙想運動は神様が主人だ。</p> <p>1. 三位一体 (霊) -三位一体の神様が目に見えないように霊で働かれる。 2. 時空-祈りは時空を超越して、遠くにいる家族にも影響が及ぶ。 3. 237 -これを 237 と言う。</p> <table border="1" data-bbox="107 510 313 598"> <tr> <td>朝-御座</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>昼-意味</td> <td>+ 25</td> </tr> <tr> <td>夜-集中</td> <td>永遠</td> </tr> </table> <p>□本論 1. 私-日頃 1) 危機-おもに危機の中で答えを見つけるようになる。 2) 創 39:1-6、出 3:1-12:46 ヨセフが奴隷に行ったとき、空前絶後の答えを見始めて、日頃に味わっていれば、問題が来たときに見える 3) ヨシ 3:1-13、6:1-10 ヨシユアにモーセとともにいたように、空前絶後の祝福が待っている。 4) I サム 3:19 サムエルを孤独に一人で置いたのは、特別な空前絶後の祝福だ。 5) I サム 17:1-47 他の人には大きな苦しみなのに、私たちには機会になる。 2. 教会 (証拠) このとき、教会に来るのに、重要な答えが見える。 1) 人-人々の中で空前絶後の答えを見るようになる。誤った人にも答えが見える。 2) 仕事-仕事をするのではなく、空前絶後の答えを見るようになる。 3) 裏面契約-教会で必ずしなければならないことが見える。ロマ 16 章の用いられた人々はこれを発見した 3. 職業 (証人) 1) 神様が造られた私、私のこと、私の現場-この答えが来る。 2) ただ・唯一性・再創造-このときから、比較することも、競争することもない。 3) プラットフォーム・見張り台・アンテナ-人々が来るしかないプラットフォームが作られて、光を放つ見張り台が立つ。彼らが神様を知って力を受け、多くのことを悟るようになることがアンテナだ。</p> <p>□結論_光を照らす証人 私たちは競争する必要なく、光を照らす証人だ。一日中、この祈りをしていても良い。神様のみことばを握るだけだったが、答えが来る。</p>	朝-御座	24	昼-意味	+ 25	夜-集中	永遠	<p>□序論_ツラノ運動、ローマ福音化を控えてパウロがこの話をした理由</p> <table border="1" data-bbox="795 247 1451 391"> <tr> <td>イエス様がなされた重要なみことば二つ</td> </tr> <tr> <td>-助け主聖霊があなたがたに来られ、あなたがたと永遠にともにいる (ヨハ 14 章)</td> </tr> <tr> <td>-聖霊に満たされなさい。信じて待てば臨むようになって、証人となる (使 1:8)</td> </tr> </table> <p>△パウロはこの現場にいなかったが、そこにいた人よりさらに悟った。今も目に見えないが働いておられる神様は、私たちに働くことができる。</p> <p>1. 私の霊的状态 (霊的器) に従って答えが来る。 2. 霊的器が作られれば、それによって運命が決定される。 3. 永遠のこと (ネフィリムの働き、または、御座の力) とつながる。</p> <p>□本論 「あなたがたは、信じたとき聖霊を受けましたか」</p> <p>1. 世の中に勝つ神様の方法 1) ヨセフ-神の霊の宿る者 (創 41:38)。これがレムナントとみなさんのこと 2) モーセ-ホレブ山で燃える光景を見たこと 3) ダビデ-この日以降、主の霊が激しく下った (I サム 16:13) 4) エリシャ-主の霊の 2 つの分け前を私にください。 5) ヘブ 11 章の人物-信仰で世の中に勝った人々 6) イエスが選ばれたガリラヤの人々-福音を受けて福音を持続する人々</p> <p>2. 誰も教えない神様の方法 1) 神様が与えられたこと 2) 信仰で受けること 3) 神様から受けること △それゆえ、契約を握って祈って証拠を握りなさい。</p> <p>3. 違うことでは私の職業、学業、産業が世界福音化することはできない 1) この祈りだけが御座の力を味わうことができる。 2) この奥義だけが時空を超越することができる。 3) 237, 5000 種族を生かす力はこれしかない。</p> <p>□結論 「受けましたか」</p> <p>1. 聖霊の永続説-永遠の前から永遠まで持続する永続説 救われた瞬間、みな受けたので、聖霊の満たしを受けることがあるかという単回説、今受けなければならないという反復説もあるが、一つだけ主張すれば問題がある。それゆえ、永遠の前から永遠まで持続する聖霊の永続説</p> <p>2. 体験よりさらに重要なのが信仰 信じるという言葉は、霊的器が作られることだ。その次に運命が決定されるのだ。その次に永遠なことにつながるのだ。</p> <p>3. この契約 (使 1:8) 握って祈り始めなさい。 信じることは神様の約束一つしかない。「信じたとき、聖霊を受けたか」うつ病で苦しんでいる方々は、心配せずに平安に呼吸して、聖霊が私に臨まれるように祈りなさい。続ければ平安な段階が来るだろう。イエスの最後のみことばである使 1:8 だけ握って祈っていれば、ある日、答えが来る。その時から始まりだ。</p>	イエス様がなされた重要なみことば二つ	-助け主聖霊があなたがたに来られ、あなたがたと永遠にともにいる (ヨハ 14 章)	-聖霊に満たされなさい。信じて待てば臨むようになって、証人となる (使 1:8)	<p>マルコの屋上の中でプリスカ夫婦が受けた答えと、難しい中で RT7 人が受けた答えを見つけ出しなさい。外国にいる韓国の人々は、神様が派遣された者だ。新しい信徒であるパウロは見ることもなかったのに最高の答えを受けた。</p> <table border="1" data-bbox="1482 303 2139 367"> <tr> <td>奥義の鍵- 1・3・8 (キリスト・神の国・ただ聖霊)</td> </tr> <tr> <td>みことば-祈り-力 (三位一体) [御座] 創 1:27, 2:7, 2:18, 時空 237, 空前絶後 3 時代</td> </tr> </table> <p>成就するみことばとして、その御名で祈れば答えが、ただ聖霊が分かれば力が現れる。これが三位一体の神様だ。これを受け入れて味わう祈りをしなさい。このときから、御座の祝福が私のいのち、たましい、生活の中に臨む。すると、時空超越と 237 を動かす答えが来始める。空前絶後の答えが私に見える。すると、私の過去は祝福の土台になって、現在のすべてのことは答えだ。未来が見えて、未来まで保証される。このとき、私、学業、産業に神の国が臨む。</p> <p>□序論_福音 (契約) の中で目を覚ましたので、天の門が開いた。</p> <p>1. 使 9:1-15 キリストに会う 2. 実力、背景、力-ちりあくた、損と 3. ピリ 3:8-21 上から呼ばれた、召された報いに向かって</p> <p>□本論 1. キリスト-すべてののろい、わざわい、運命が崩れたこと わざわい-避ける方法がない。 1) 三職務で私を生かさされた-サタンを打ち破った真の王、救いの道を開かれた真の預言者、すべてのわざわいから解放して下さった真の祭司 2) 三位一体の神様が働かれる道 3) 5 つの解決-永遠の前のキリスト (原罪解決)、受肉されたキリスト (救い)、復活されたキリスト (その御名で祈れば答え)、再臨主、さばき主として来られるキリスト (未来問題保証)</p> <p>2. 3 つの国-3 か月の間、大胆に神の国を説明 1) 御座の祝福 2) 神の国が臨んだこと 3) 神の国のことが成り立ったこと</p> <p>3. 証人として立ったこと 1) みことばの力- 2 年間神様のみことば伝達 2) いやし 3) 暗やみ縛る</p> <p>□結論 1. 神の国-今日の意味を見つけ出しなさい。そこに神の国が臨むことが重要 (8 節) 2. ののしる者、弟子-当然、必然、絶対 (神様の計画)、2 年間みことば運動 (9 節) 3. みことばの力 (10 節) 4. いやしの働き 5. 暗やみ縛る △光の子どもであるから、だまされないうで契約を握っていれば、必ず勝利するようになる。信じて分かれば良い。</p> <p>平安、力-祈り 平安な中で神様の力を味わう祈りの中にいなければならない。特別祈りよりもっと大きい答えが来る。</p>	奥義の鍵- 1・3・8 (キリスト・神の国・ただ聖霊)	みことば-祈り-力 (三位一体) [御座] 創 1:27, 2:7, 2:18, 時空 237, 空前絶後 3 時代
朝-御座	24												
昼-意味	+ 25												
夜-集中	永遠												
イエス様がなされた重要なみことば二つ													
-助け主聖霊があなたがたに来られ、あなたがたと永遠にともにいる (ヨハ 14 章)													
-聖霊に満たされなさい。信じて待てば臨むようになって、証人となる (使 1:8)													
奥義の鍵- 1・3・8 (キリスト・神の国・ただ聖霊)													
みことば-祈り-力 (三位一体) [御座] 創 1:27, 2:7, 2:18, 時空 237, 空前絶後 3 時代													